

広島市立看護専門学校便り

発行：広島市立看護専門学校・自治会（新聞委員）

今年の学校祭もコロナ禍で開催ができなかった為、おりづるアートを制作しました！様々な制限がありましたが、【いまこそいちがん】をスローガンに、1クラスあたり約300羽のおりづるを折って、素敵な作品が出来上がりました！おりづるが詰め寄るさまは、まさに【一丸＝市看^{いちがん}】を表せたと思います！皆さん、ご協力頂きありがとうございました！6階ロビーに飾ってあるので、是非見に来てください！

2年連続で学校祭が不開催のため、来年こそは開催できるよう、皆さんも感染対策をしていきましょう！文化委員



第64回 広島県看護学校研究発表会

昨年、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった広島県看護学校研究発表会が、各校の学生や先生方の強い希望で、今年度はオンラインという形での開催となりました。私たち第二看護学科41回生は、本来2年生で行うはずだった実行委員という大役を、実習真っ只中の3年生で引き受けることになり、先生の助けをもらいながら忙しい中でリハーサルなどの準備をすすめていきました。当日はオンラインならではのハプニング（通信障害など）にヒヤッとする場面もありましたが、41回生と先生たちがワンチームとなって乗りきり、とてもタイトなスケジュールを時間通りに進行することができました。初めての試みでしたが、各校の雰囲気、個性を身近に感じ取ることのできる発表会となりました。【実行委員長Sさん】

代表者の発表は、第一看護学科Tさんによる「療養者が地域で自立した生活を継続するための援助—今ある機能の活用と多職種・地域連携について—」、第二看護学科Kさんによる「独居認知症高齢者の安心した暮らしの継続を支える看護—訪問看護におけると家族への関わり—」でした。二人とも落ち着いた素晴らしい発表や質疑応答でした。



第一看護学科 Tさん



実行委員による配信の様子



第二看護学科 Kさん



クラスの様子



第一看護学科 1年

最近は新型コロナウイルスも治まってきて、対面授業が増えてきました。10月には2回目の基礎看護学実習があり、緊張しながら、ベッドメイキングやバイタルサイン測定などを模擬患者さんに実施しました。実習中に模擬患者さんの個別性に合わせた看護をグループ全員で話し合い、終わる頃には落ち着いて実施できるようになりました。まだまだ技術テストや筆記テストがありますが、頑張っ合格して来年の基礎看護学実習Ⅱに繋がってほしいと思います。

第一看護学科 2年



入学してからずっと行けていなかった臨地実習について10月から行けることになりました。実際の患者さんと関わることで、学内実習とはまた違った様々な学びをたくさん吸収しながら過ごしています。2年生も残すところ少しとなりましたが、皆で助け合いながら過ごしていきたいと思っています。

第一看護学科 3年



11月に入り実際に臨床の現場で実習が出来るようになりました。約1年ぶりの臨床での実習ということで緊張しながらも実際働き出してからのことを考えながら日々頑張っています。また同時に、国家試験に向けての勉強にも日々取り組んでいます。忙しい毎日ですが、時には息抜きも大切に、クラス一丸となって頑張ります！

第二看護学科 3年

11月に入り全面的に臨地での実習がはじまりました。久しぶりの臨地実習であるため戸惑いや悩みもあり日々苦戦していますがメンバーと力を合わせて試行錯誤して頑張っています。看護学生生活のラストスパートに差し掛かっているため日々知識をつけて国家試験に向けて努力したいと思っています。

第二看護学科 1年

入学して半年経ち、学校生活にも慣れてきました。テストが続きますが、その度クラスメイトと協力して乗り越えています。これから実習が始まります。これまで習った技術、知識をもとに取り組んでいきたいと思っています。



第二看護学科 2年

前期に引き続き web 主体で講義を受けています。成人の看護過程を終えて現在は老年や小児といった各期の看護過程に取り組み中ですが、基本的なことにプラスしてその年代の特徴の理解が必要になり、看護の実践に必要な臨床判断能力を高めることが求められているので悪戦苦闘しながら向き合っています。また最後の技術試験を控えていて練習時間が短かく焦りもあります。限られた時間を有効に活用して頑張ります。目指せ全員合格！！

